

## 歴史的公文書等の収集選別について

## 1 歴史的公文書等の収集選別の現状

## (1) 収集選別業務の流れについて

- ・ 別添参考資料のとおり。

## (2) 文書量について

- ・ 公文書館における収蔵可能冊数は、約 10 万冊※を想定。
- ・ 既に移管済または移管予定の文書は、約 2 万冊。
- ・ 今後の移管文書としては、毎年発生する定例的なもののほか、市史編さん資料、企業局や行政委員会が所管している文書、保存期間（延長後の保存期間）が満了した震災関連文書などが想定される。

※ 簿冊 1 冊あたり 6cm 換算で試算。

## 【参考】令和元年度収集選別実績（定例分）

対象文書数	選別文書数	選別率	移管文書数	移管率
40, 161	1, 336	3. 3%	330	0. 8%

※ 移管文書数は、選別した文書から、各課から保存期間を延長する等の回答があった文書を除いた文書数

## (3) 現行基準における課題について

- ・ 現行の基準では 30 年保存の文書が中心となっているが、実際に収集選別を行って見たところ、保存期間に関わらず歴史的公文書に該当するものが存在していた。
- ・ 曖昧な基準や、対象となる文書の範囲を変更すべきと考えられるものなど、実際の収集選別作業を行った職員から、様々な意見が寄せられている。
- ・ 東日本大震災に関する文書の扱いについて、収集選別の対象とする文書の線引きがなされていない。

## 2 収集選別基準の改正について

上記 1 (3) の課題を踏まえ、収集選別基準の改正案を作成（資料 4 のとおり）。